

令和3年度 公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校「新政治・経済 新訂版」 (清水書院)						
副教材等	自作教材						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

人間にとって政治と経済は切り離すことのできない重要なものです。自分らしく生きていくためにも社会の成り立ちや出来事に関心を持ち、理解することが大切です。新聞やテレビのニュースを色々な観点から考え、私たちの世界をより一層理解できるように一緒に勉強していきましょう。
 考査やプリント、レポートはもちろん、授業態度も重視します。

2 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	出席状況 授業準備 授業態度 授業プリント	定期考査 授業プリント レポート	定期考査 授業プリント レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	民主主義の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> 人間と政治 政治とは何か 民主政治へのあゆみ 絶対王政から民主主義へ 	○	○	○	○	a: 人間と政治との関わりに関心を高めようとしている。 b: 政治とは何かについてその意義を理解し、適切に表現している。 c: 絶対王政から民主主義の流れについて適切にまとめている。 d: 基本的知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート
前期	日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の基本原則 憲法とは何か 日本国憲法の三大原則 基本的人権の分類 自由権的基本権 	○	○	○	○	a: 憲法の目的や特徴に関心を高めようとしている。 b: 日本国憲法の三大原則について理解し、適切に表現している。 c: 政教分離の構造を分かりやすく図にまとめている。 d: 基本的知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート
後期	日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> 国会と立法過程 現代日本の政治 選挙と政治参加 	○	○	○	○	a: 国会と立法過程に関心を高めようとしている。 b: 衆議院が優越する理由を考察し、適切に表現している。 c: 選挙制度の種類を理解し、適切に図にまとめている d: 基本的知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート
後期	国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の形成 主権国家と国際社会 国際関係の基本的要因 	○	○	○	○	a: 国際社会の成り立ちに関心を高めようとしている。 b: 国際関係の三つの基本的要因を理解し、適切に表現している。 c: ウェストファリア会議と近代国際社会の成り立ちとの関係を理解し、図にまとめている。 d: 基本的知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート

後期	現代経済の特質	<ul style="list-style-type: none"> 現代経済の特質 経済活動の意義 租税と国債 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a: 経済活動の意義について関心を高めようとしている。 b: 消費税の逆進性、所得税の累進課税制度といった水平的公平や垂直的公平を理解について理解し、適切に表現しようとしている。 c: 資源の希少性と経済問題について理解し、図にまとめている。 d: 基本的知識を身に付けている。 	定期考査 授業プリント レポート
----	---------	---	---	---	---	--	------------------------

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。